

第50回全日本バトントワリング選手権関東支部大会

(第50回全日本バトントワリング選手権大会予選の部)

(第6回全日本バトントワリングジュニア選手権大会予選の部)

(2025年IBTF世界テクニカルバトントワリング選手権大会日本代表選考会関東支部選考の部)

実施要項



開催日 2025年2月1日(土)・2日(日)

会場 大田区総合体育館

主催 日本バトン協会関東支部

目 次

大会概要	P 2
第 6 回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会 予選の部 第 5 0 回全日本バトントワーリング選手権大会 予選の部	P 4~18
2025 年 IBTF 世界テクニカルバトントワーリング選手権大会日本代表選考会 関東支部選考の部	P 19~25
全国共通規定演技の部	P 26~27
各種申し込みについて	P 28~29

大会概要

【大会名称】 第50回全日本バトントワーリング選手権関東支部大会

【開催日時】 2025年2月1日(土)・2日(日) 9:30~19:30(予定)

※競技種目の日程は、後日お知らせします。

第6回全日本ジュニアバトントワーリング選手権大会

予選の部 準々決勝・準決勝・決勝

ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワール

第50回全日本バトントワーリング選手権大会

予選の部 準々決勝・準決勝・決勝

ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワール

2025年IBTF世界テクニカルバトントワーリング選手権大会日本代表選考会

関東支部選考の部

ソロ・トゥーバトン・スリーバトン・アーティスティックトワール

アーティスティックペア・デュエット・トワールチーム・アーティスティックチーム

アーティスティックグループ

全国共通規定演技の部

【会場】 大田区総合体育館 東京都大田区東蒲田 1-11-1

アクセス

- ・京急本線「梅屋敷駅」から徒歩5分
- ・京急本線「京急蒲田駅」から徒歩7分
- ・京浜東北線「蒲田駅」から徒歩15分

【主催】 日本バトン協会関東支部

【大会事務局】 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩 1-42-11 中屋ビル304号室

TEL/FAX 03-5879-6466 日本バトン協会関東支部

【後援】 東京都・(公財)東京都スポーツ協会・大田区・(公財)大田区スポーツ協会(予定)

一般社団法人日本バトン協会

【主旨】

本大会は、競技バトンの普及・振興を図り、スポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とし、関東一円のバトントワラーが一堂に集い、技を競い、友好を深めるとともに青少年の健全育成と豊かな人間形成に貢献する精神のもとに行われる。

全日本選手権予選の部は、「第50回全日本バトントワーリング選手権大会」及び「第6回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会」の関東予選として開催され、種目はソロトワール・トゥーバ

トン・スリーバトン・ダンストワール・ソロストラット・ペアの6種目を実施する。また、「2025年世界テクニカルバトントワーリング選手権大会日本代表選考会」の関東支部選考の部としてソロ・トゥーバトン・スリーバトン・アーティスティックトワール・アーティスティックペア・デュエット・トワールチーム・アーティスティックチーム・アーティスティックグループを実施する。

第50回全日本バトントワーリング選手権大会予選の部 実施要項

第6回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会予選の部 実施要項

1. 出場資格

- (1) 参加者は、2024年11月15日（金）現在、一般社団法人日本バトン協会に2024年度加盟登録をしている関東支部の団体に構成員登録をしていること。
- (2) 複数種目出場者は同一団体から申し込むこと。
※一般団体と学校団体の両方に構成員登録している選手は、どちらか一方から出場すること。
ペア競技について登録の学校団体名での参加を認める。
※ペアのメンバーは、同支部内の合同を認める。申し込はそれぞれの団体にて行い、団体名は連名にて表記する。
- (3) 参加者は、参加申込書を期日2024年11月15日（金）14:00必着にて事務局に送ること。
- (4) 参加者は、参加費を郵便局備付の払込取扱票にて、2024年11月15日（金）までに振り込むこと。
- (5) 参加者は、参加に際し一般社団法人日本バトン協会2024年度ワッペンを着装すること。
- (6) 同一選手の出場は、6種目の中から2種目までとする。
※「1. 出場資格」に反した場合は、出場資格を失う場合もある。

全日本推薦枠数は、12月中旬に日本バトン協会関東支部ホームページに発表する。

2. 種目に関する規定

- (1) ソロトワール
- (2) ツーバトン
- (3) スリーバトン
- (4) ダンストワール
- (5) ソロストラット
- (6) ペア

3. 部門に関する規定

※生年月日は以下の通りとする。

【ソロトワール】

- (1) 部門は次の通りとする。

① 女子U-9	2015年4月2日	～	2018年4月1日
② 女子U-12	2012年4月2日	～	2015年4月1日
③ 女子U-15	2009年4月2日	～	2012年4月1日
④ 男子U-12	2012年4月2日	～	2018年4月1日
⑤ 男子U-15	2009年4月2日	～	2012年4月1日
⑥ 女子U-18	2006年4月2日	～	2009年4月1日
⑦ 女子U-22	2002年4月2日	～	2006年4月1日
⑧ 女子0-23		～	2002年4月1日

⑨ 男子 U-18	2006 年 4 月 2 日	～	2009 年 4 月 1 日
⑩ 男子 0-19		～	2006 年 4 月 1 日

【トゥーバトン・スリーバトン】

(1) 部門は次の通りとする。

① 女子 U-12	2012 年 4 月 2 日	～	2018 年 4 月 1 日
② 女子 U-15	2009 年 4 月 2 日	～	2012 年 4 月 1 日
③ 男子 U-12	2012 年 4 月 2 日	～	2018 年 4 月 1 日
④ 男子 U-15	2009 年 4 月 2 日	～	2012 年 4 月 1 日
⑤ 女子 U-18	2006 年 4 月 2 日	～	2009 年 4 月 1 日
⑥ 女子 U-22	2002 年 4 月 2 日	～	2006 年 4 月 1 日
⑦ 女子 0-23		～	2002 年 4 月 1 日
⑧ 男子 U-18	2006 年 4 月 2 日	～	2009 年 4 月 1 日
⑨ 男子 0-19		～	2006 年 4 月 1 日

【ペア】

(1) 部門は次の通りとする。

① U-12	2012 年 4 月 2 日	～	2018 年 4 月 1 日
② U-15	2009 年 4 月 2 日	～	2012 年 4 月 1 日
③ U-18	2006 年 4 月 2 日	～	2009 年 4 月 1 日
④ U-22	2002 年 4 月 2 日	～	2006 年 4 月 1 日
⑤ 0-23		～	2002 年 4 月 1 日

※性別区分は行わない。2人の内、年齢が上の人の部門とし、

③～⑤においては年齢が下の選手の生年月日は当該部門の生年月日か
2012 年 4 月 1 日までとする。

※補欠は認めない。

【ソロストラット・ダンストワール】

(1) 部門は次の通りとする。

① U-12	2012 年 4 月 2 日	～	2018 年 4 月 1 日
② U-15	2009 年 4 月 2 日	～	2012 年 4 月 1 日
③ U-18	2006 年 4 月 2 日	～	2009 年 4 月 1 日
④ U-22	2002 年 4 月 2 日	～	2006 年 4 月 1 日
⑤ 0-23		～	2002 年 4 月 1 日

※性別区分は行わない。

4. 準々決勝・準決勝・決勝に関する規定

(1) エントリー数により大会実行委員会が決定する。

5. 演技順に関する規定

(1) 大会実行委員会にて抽選により決定する。

(2) 準決勝・決勝進出者の演技順はセット番号の早い順を基本とする。

6. 審査、順位に関する規定

- (1) 審査員長、副審査員長、審査員の人数及び役割は次の通りとする。
 - ① 審査員長 1 名、副審査員長 1 名以上とし、審査の円滑な遂行を総括する。
 - ② 審査員は準々決勝・準決勝・決勝共に 5 名とする。
 - ③ ペナルティ審査員は 1 名とする。
- (2) 準々決勝・準決勝・決勝は次の通りとする。
 - ① 準々決勝出場人数により準決勝進出人数は実行委員会において決定する。
 - ② 準決勝上位 8 位までが決勝に進出することを基本とする。
 - ③ 出場人数により、準決勝を行わず決勝のみとする場合がある。
- (3) 順位の決定は次の通りにする。
 - ① 審査員の評点（10 点法小数点第 2 位まで）からペナルティを差し引き審査員の得点とする。
 - ② 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
 - ③ 複数コートにおいての準決勝進出者は得点の高い順とする。
- (4) 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。
 - 優先順 1 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする。
 - 優先順 2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。
 - 優先順 3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする。
 - ① 上記手順によっても決勝進出最終順位が同位の場合は全員決勝に進出する。
 - ② 同率順位はそのままとし、次位を空位とする。
 - ③ 全日本推薦最終順位が同位の場合は、評点の上下カット合計の高い方を上位とする。
※準々決勝・準決勝を棄権した場合は棄権とし、決勝を棄権した場合は決勝の最下位とする。
ただし、準決勝を行わない決勝においての棄権は棄権とする。

※審査方法は全日本選手権の審査方法で行う。

[6 種目の審査は部門にかかわらず下記の 5 つのレベルで評価]

フェア [0.0~2.9]

基本的なトワリングとボディワークの習得レベル

アベレージ [3.0~4.9]

基本から展開が見られるレベル

グッド [5.0~6.9]

3 モードでの展開が見られ、バラエティー・ディフィカルティーが見られるレベル

エクセレント [7.0~8.9]

正確で、質の高いトワリングとボディワークに、バラエティー・ディフィカルティーが見られるレベル

スペリア [9.0~10.0]

すべてにおいてバランスがとれ、リスクの高さ・質・難易度共に最高のレベル

7. 表彰に関する規定

- (1) 原則として各部門共8位まで入賞とし、賞状及び副賞を授与する。

8. 推薦に関する規定

本大会の上位者を関東支部より、第50回全日本バトントワーリング選手権大会及び第6回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会に推薦する。

【第50回全日本バトントワーリング選手権大会】

【第6回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会】

関東支部推薦者の手続き

関東支部より推薦された出場者は、一般社団法人日本バトン協会ホームページより参加申込フォームに必要事項を入力し登録団体毎にデータで提出をすること。

※申込用紙はHPからダウンロードして下さい。

※すべての参加申し込み申請の〆切は、2025年2月12日(水)13時までとする。

※種目別参加費は締め切り日までに指定口座への納入を厳守すること。

締め切り日を超えた場合は出場できないこともある。

9. 競技におけるアクシデント

- (1) 大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について、再演技の判断は、実行委員長・審査委員長・団体責任者・本人が協議し決定をする。
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までの採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は、演技を行ったところの採点対象とする。
演技コートにいない場合は棄権とみなす。

競技規定・審査規定

ソロトワール

1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン1本
- (3) 競技フロア …縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …Valiant Edge（約1分45秒） ※2023年度に変更
- (5) 内容 …1本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ① イントロダクション（オープニング サリュートは自由）
- ② 3モード エーリアル [バーティカル・フラット(水平)]
 ロール [バーティカル・フラット(水平)]
 コンタクト マテリアル [バーティカル・フラット(水平)]
- ③ エンディング（エンディング サリュートは自由）
 ※フロアワークは組み入れない方が望ましい。
- (6) リストリクション …対象：女子U-9・U-12
 （技の制限） 男子U-12
 エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル
 以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止
- (7) コスチューム
 [女子]レオタード（袖の有無自由）装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。
 [男子]トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、
 タイツ自由。
 [共通]シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用する
 こと。
 ※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

- (1) 内容
 - ① バラエティー
 3モードのバランス／両手使い
 - ② ディフィカルティー
 バトントワーリングとボディワークの困難度／リリース／レセプション／リードイン／
 フォロースルー／コネクション
- (2) 実施
 - ① テクニック
 バトントワーリングの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度、質／ボディワークの熟練度、質
 ／リズム、タイミングのコントロール
 - ② パフォーマンス&エクスペッション
 プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／
 自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対する一体感
 - ③ スピード
 バトントワーリングの一貫したスピード／スピードコントロール
- (3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
 - ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
 - ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
 - ④ リストリクション 1回につき0.2点減点
- ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

トウーバトン

1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン2本
- (3) 競技フロア …縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- (5) 内容 …2本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ① コンタクトテリアル（2本のバトンを身体の近くで行うトワール）
 - ② ロール（両手を使ったロール。又は空中で1本のバトンが高く、もう1本がロールの組み合わせ）
 - ③ ハイロー（空中で1本のバトンが高く、もう1本が低いエアリアル。又は1本が高くもう1本はコンタクトマテリアル等の組み合わせ）
 - ④ ダブルトス トリック（2本同時に空中ヘトス）
 - ⑤ ジャグル（片手で連続的なリリースとキャッチ。例：片手で2本のバトンを交互にトス）
 - ⑥ シャワー（両手で連続的なリリースとキャッチ。例：1本のバトンをついている間にもう1本をパスして最初のバトンをついてキャッチ）
 - ⑦ コンプレックス トリック（複雑なトリック・リリース・レセプション）
- (6) リストリクション …対象：女子U-12 男子U-12
（技の制限） エアリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止
- (7) コスチューム
[女子] レオタード（袖の有無自由）、装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。
[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由。
[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。
※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

- (1) 内容
 - ① バラエティー
コンタクトマテリアル／ロール／ハイロー／ダブルトス トリック／ジャグル／シャワー／コンプレックス トリック
 - ② ディフィカルティー
バトントワーリングとボディワークの困難度／リリース／レセプション／リードイン／フォロースルー／コネクション
- (2) 実施
 - ① テクニック
バトントワーリングの正確さ／ボディワークの正確さ／トウーバトンの熟練度、質
ボディワークの熟練度、質／リズム、タイミングのコントロール
 - ② パフォーマンス&エクスプレッション
プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）
自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対する一体感
 - ③ スピード
バトントワーリングの一貫したスピード／スピードコントロール
- (3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
 - ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
 - ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
 - ④ リストリクション 1回につき0.2点減点
- ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

スリーバトン

1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン3本
- (3) 競技フロア …縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- (5) 内容 …3本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ① カスケード（左右交互に行われるリリースとキャッチ）
 - ② シャワー（両手による継続的なリリースとキャッチ）
 - ③ ジャグル（片手による継続的なリリースとキャッチ）
 - ④ ダブルトス—シングルトス
（2本同時に空中へトスし、それとコーディネーションして残りもう1本を続いてトスする）
 - ⑤ ハイ ロー（高いエーリアルの下でトゥーバトンの技を行うこと）
 - ⑥ スタックス（高いエーリアルの下に低いエーリアルを投げ上げ、その下でコンタクトマテリアルを行う）
 - ⑦ トリプルトス（最初のトスをレセプションする前に、1本ずつすべて順番にリリースするもの。
または、3本のバトンすべてを同時にリリースするもの）
- (6) リストリクション …対象：女子U-12 男子U-12
（技の制限） エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止
- (7) コスチューム
[女子] レオタード（袖の有無自由）装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。
[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由。
[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。
※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

- (1) 内容
 - ① バラエティー
シークエンスの広がりと変化、それらのミックス／両手使い／コンタクト マテリアル、ロール／パターン、プレーン、ディレクションの扱い方
 - ② ディフィカルティー
密度／リリース、レセプションの困難度／リスク／エーリアル
- (2) 実施
 - ① テクニック
バトントワーリングの精密さ、安定感／コレクション／リズム、タイミングのコントロール／バトントワーリングとボディワークのブレンド及びスピード／フォロースルー、パターンチェンジ、レボリューションの正確さ
 - ② パフォーマンス&エクスペッション
エンターテインメント性／持久力とスタミナ／自信のある演技／リカバリー能力
 - ③ デマンド
継続性／同時責任性／ビジュアルトラッキング／空間構成能力
- (3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
 - ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
 - ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
 - ④ リストリクション 1回につき0.2点減点
- ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ペア

1. 競技規定

- (1) 人数 …2名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン2本（各1本）
- (3) 競技フロア …縦10m×横12mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- (5) 内容 …二人で、バトンとボディワークの調和した技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

① ソロトワールと同様であるが、エクステンジなどペア要素を重視したもので構成する。

※二人がソロトワールの同じことを行うだけではなく、ペアの特色を生かした演技をすることに価値がある。

- (6) リストリクション …対象：U-12

（技の制限） エアリアルにおけるジムナスティックのトリプル
以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止

- (7) コスチューム

[女子] レオタード（袖の有無自由）装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。

[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由。

[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。

※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

- (1) 内容

① バラエティー

3モードのバランス／エクステンジ／ペアワーク／フロアパターン

② ディフィカルティー

バトントワーリングとボディワークの困難度／シンクロナイゼーションの困難度／
コーディネーションの困難度

- (2) 実施

① テクニック

バトントワーリングの正確さ／ボディワークの正確さ／バトントワーリングの熟練度、質／
ボディワークの熟練度、質／ ペアのコントロール／リズム、タイミングのコントロール

② パフォーマンス&エクスペッション

ペアとしての責任／プロジェクション（意気込み）／持続性（忍耐力とスタミナ）／
自信のある演技／リカバリー能力

③ スピード

バトントワーリングの一貫したスピード／2人の統一したスピード

- (3) ペナルティ

① ドロップ 1本につき0.1点減点

② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点

③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点

（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない）

④ リストリクション 1回につき0.2点減点

※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ソロストラット

1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン1本
- (3) 競技フロア …縦10m×横15mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …栄光へのマーチ（約1分30秒）
- (5) 内容 …マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるボディワークとバトンの技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

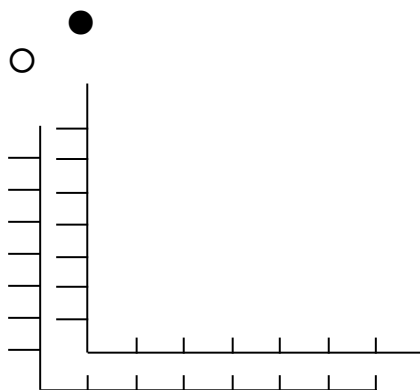
①イントロダクション8拍

- ・振り付けは自由だが、ミリタリーストラットに導入しやすい動作（アテンション・サリュート等）

②ミリタリーストラット（ダブルL字ストラット）32拍

- ・足の動き… 審査員に向かってベーシックストラット（腿は、床と平行になる）で8拍前進、8歩目（右足）を踏み出すと同時に右足を軸にして左に90度方向変換、新方向へ左足より7拍前進、7歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右廻りで180度方向変換、右足より8拍前進、8歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右に90度方向変換、審査員を後ろにし、8拍前進、9歩目で右足を左足に揃える。

FM 8 (LS ON8)
FM 8 (TTR ON7)
FM 8 (RS ON7)
FM 8 (H ON8)



審査員席

- ・右手はビートタイム（拍子をとる）[指揮杖でバンドを指揮するような動作]
 - ・左手は、指を揃えて左腰におく
 - ・足は、ベーシックストラット
 - ・背中はずっと正面（進行方向）を向く、顔は引き締める
- ③プレゼンテーション 32拍
- ・自由に表現できるセクション
- ④フォワードモーション 96拍
- ・ビートに合わせてパレードを先導するように前進しながらバトンと優雅なボディワークを組み合わせ、フロアをデザインするセクション
 - ・奇数は左足、偶数は右足でステップする
 - ・両脚は1拍までとする
 - ・ダブルイリュージョンは踏みかえること
- ⑤エンディング 16拍
- ・全ての終わりを示し、自由に表現できるセクション

- (6) リストリクション …対象：U-12
 (技の制限) エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル
 以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止
- (7) コスチューム
 [女子] レオタード(袖の有無自由) 装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。
 [男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、
 タイツ自由。
 [共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用する
 こと。
 ※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

(1) 内容

- ① イントロダクション・ミリタリー ストラット
 ビートタイム／ミリタリースタイル／ベーシックストラット
- ② プレゼンテーション・エンディング
 バトントワーリングとボディワークのバラエティー／
 バトントワーリングとボディワークのディフィカルティー／
 バトントワーリングとボディワークのオリジナリティー
- ③ フォワードモーション
 バトントワーリングとボディワークの組み合わせのバラエティー、ディフィカルティー／
 バトントワーリングとボディワークの組み合わせのオリジナリティー／フロアデザイン

(2) 実施

- ① テクニック
 バトントワーリングとボディワークの調和と正確さ／シャープさ、柔軟性、優雅さ／
 リズムの取り方／ボディコントロール
- ② パフォーマンス&エクスペッション
 パレードを先導する演技／アピール性、自信／リカバリー能力
- ③ アウトオブステップ
 フォワードモーションにおける足踏みの誤り

(3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
 (サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
- ④ リストリクション 1回につき0.2点減点
 ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ダンストワール

1. 競技規定

- (1) 人数 …1名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン1本
- (3) 競技フロア …縦10m×横15mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- (4) 課題曲（時間） …U-12・U-15 輝きの時(約1分34秒)
U-18以上 Celebration(約1分33秒)
- (5) 内容 …バトンとダンスワークのブレンドが、音楽に調和した技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ① 音楽のテンポ、リズム、フレーズに合わせ、曲想表現ができるよう、様々なダンスワークとバトンをブレンドし構成する。
- (6) リストリクション …対象：U-12
(技の制限) エアリアルにおけるジムナスティックのトリプル
以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止
- (7) コスチューム
[男女共通] 自由 装飾、髪飾り自由。
帽子の脱着やコスチュームの一部が身体から完全に離れる様な脱着は不可。
シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。
※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

(1) 内容

- ① コレオグラフィー
バトントワーリングとダンスワークの組み合わせ／音楽に合った構成、振り付け／
チェンジオブペース／フロアの使い方、ステージング
- ② バトントワーリングとダンスワークのブレンド
バトントワーリングのバラエティー、ディフィカルティー／
ダンスワークのバラエティー、ディフィカルティー／
バトントワーリングとダンスのコンビネーション／シリーズのディフィカルティー／
オリジナリティー

(2) 実施

- ① テクニック
バトントワーリングとボディワークの正確さ、明確さ／動きの熟練度、質／
リズム、タイミング／音楽との関わり、調和／ダンススキルの質／ボディコントロール
- ② パフォーマンス&エクスペッション
ショーマンシップ、エンターテインメント性／自信

(3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
- ② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
- ③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
- ④ リストリクション 1回につき0.2点減点
※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

その他の競技規定

1. 全種目共通

- (1) ボールとティップは新しいものを使用することが望ましい。
- (2) バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- (3) バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。
- (4) 競技フロアヘタオル・パウダーなどバトン以外を持ち込んではいない。
- (5) 怪我のための包帯等は可。
- (6) 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。
- (7) 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- (8) スポーツ競技であることを前提に、適度なステージメイクアップは良い、装飾（顔に模様を描く等）は禁止する。

2. その他

- (1) 大会の主旨及び実施要項・競技規定・審査規定に反する行為を行った場合、警告または次回大会出場停止とする。
- (2) 競技規定・審査規定の主旨を変更することなく、実行委員会において加除訂正を行うことができる。

2025年IBTF世界テクニカルバトントワーリング選手権大会日本代表選考会関東支部選考の部

1. 出場資格

- (1) 参加者は、2024年11月15日(金)現在、一般社団法人日本バトン協会に2024年度加盟登録をしている関東支部の団体に構成員登録をしていること。
- (2) 一般団体と学校団体の両方に構成員登録している選手は、どちらか一方から出場すること。
※ペア競技について登録の学校団体名での参加を認める。
- (3) エントリー種目
 - ① 同一選手の出場は、2種目までとし、補欠も同様とする。
 - ② トワールチーム/アーティスティックチーム/アーティスティックグループのみ補欠を認める。
 - ③ ペア競技・チーム競技は、同支部内の合同を認める。申し込はそれぞれの団体にて行い、団体名は連名にて表記する。尚、今大会における合同は2団体までとし、3団体の合同は認めない。
- (4) 参加者は、参加申込書を期日2024年11月15日(金)必着にて事務局に送ること。
- (5) 参加者は、参加費を郵便局備付の払込取扱票にて、期日までに振り込むこと。
- (6) 参加者は、参加に際し一般社団法人日本バトン協会2024年度ワッペンを着装すること。
- (7) 第50回全日本バトントワーリング選手権大会予選の部、
第6回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会予選の部と重複エントリーができる。
※「1. 出場資格」に反した場合は、大会実行委員会にて出場の判定を行う。
※ 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用するものではない。
- (8) 日本国籍であること。

2. 種目・部門

- (1) 部門は以下の通りとする。

【個人競技 ソロ・トワーバトン・スリーバトン・アーティスティックトワール】

① 女子ジュニア	2008年1月1日	～	2013年4月1日	※12歳～17歳
② 女子シニア		～	2007年12月31日	※18歳以上
③ 男子ジュニア	2008年1月1日	～	2013年4月1日	※12歳～17歳
④ 男子シニア		～	2007年12月31日	※18歳以上

【ペア競技 デュエット】

- | | |
|--------|-------------------|
| ⑤ ジュニア | ※二人の合計年齢が 24歳～35歳 |
| ⑥ シニア | ※二人の合計年齢が 36歳以上 |

【ペア競技 アーティスティックペア】

⑦ ジュニア	2008年1月1日	～	2013年4月1日	※12歳～17歳
⑧ シニア		～	2007年12月31日	※18歳以上

【チーム競技 トワールチーム・アーティスティックチーム】

区分なし/ 6～8名 ～ 2013年4月1日 ※12歳以上

【チーム競技 アーティスティックグループ】

区分なし/ 10名～30名以内 ～ 2013年4月1日 ※12歳以上

※すべての種目は小学生を除く、12歳以上とする。

※2025年12月31日時点の年齢を示す。

3. 準々決勝・準決勝・決勝に関する規定

- (1) エントリー数により大会実行委員会が決定する。

4. 演技順に関する規定

- (1) 大会実行委員会にて抽選にて決定する。
- (2) 準決勝・決勝進出者の演技順は、セット番号の早い順を優先し、種目重複選手を考慮し大会実行委員会にて決定する。

5. 審査及び選考に関する規定

- (1) 審査員長、審査員の役割は次の通りとする。
 - ① 審査員長は審査の円滑な遂行を統括する。
 - ② 審査員はソロ／トゥーバトン／スリーバトン／アーティスティックトワール／アーティスティックペアデュエット／トワールチーム／アーティスティックチーム／アーティスティックグループは5名とする。
 - ③ 順位について
※ペナルティ審査員を置かず、各審査員が制約事項を加味し総合的に評価して採点する。
 - (ア) ソロ／トゥーバトン／スリーバトン／アーティスティックトワール／アーティスティックペア／デュエットは10点法により採点し、各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
 - (イ) トワールチーム／アーティスティックチーム／アーティスティックグループは100点法により採点し、各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
 - (ウ) ドロップペナルティは行わず、違反があった場合には、審査員長より、計時/ペナルティシートにて警告し、減点はしない。
 - ④ 同位者のみ次の優先順に従って決定する。
優先順 1 全審査員の席次点合計の低い方とする。
優先順 2 全審査員の得点を上下カットした合計の高い方とする。
優先順 3 全審査員の得点合計の高い方とする。
優先順 4 審査員の投票により決定する。
- (2) 出場者数により、準決勝を行う場合がある。

6. 音楽に関する規定

- (1) ソロ・トゥーバトン・スリーバトン・アーティスティックトワール/ペア・デュエット・トワールチームの課題曲は、一般社団法人日本バトン協会のホームページよりダウンロードし使用すること。
<https://www.ibtf-batontwirling.org/official-music.html>
※ トゥーバトン・スリーバトンは10月以後に新曲が発表となります。
- (2) アーティスティックチーム／アーティスティックグループ
自由曲 3分～3分30秒

7. コスチュームに関する規定

- (1) アーティスティックトワール／アーティスティックペア共通
 - ① スポーツ競技であることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。
- (2) アーティスティックチーム／アーティスティックグループ共通
 - ① スポーツ競技であることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。
 - ② 手のひらと顔を覆うようなものは不可とする。

8. 競技におけるアクシデント

- (1) 大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について、再演技の判断は、実行委員長・審査員長・団体責任者・本人が協議し決定をする。
- (2) 再演技を行った場合は、再演技の採点を有効とする。ただし、再演技を行わなかった場合は演技をした所までを採点対象とする。
- (3) 選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は、演技を行ったところを採点対象とする。競技フロアにいない場合は棄権とみなす。

9. 著作権について

【アーティストックチーム、アーティストックグループ共通】

大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。

大会では音楽著作権使用許諾のある曲以外（自作曲を除く）は使用できない。

(1) 音楽著作権使用許諾の申請 使用曲には音楽著作権使用許諾の申請が必要である。

- ① 使用曲の音源（全曲）については、各団体の責任において直接版權を持っている出版元に音楽使用許諾をとること。
- ② 許諾が下りるまでに日数がかかる場合があるので注意すること。
- ③ 自作曲の場合は、適用除外となる。
- ④ 支部大会において許諾が取れていても、日本代表選考会の許諾は必ずとること。

※録音使用許諾については、支部大会・日本代表選考会を一括して許諾申請することができる。

尚、著作権は作者の死後70年を経ると消滅する事が原則だが、作者の著作権の有無はJASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部に直接問い合わせること。（使用料等の金額並びに支払方法を提示される事がある）

大会で使用した曲について万が一版元とのトラブルが生じた場合は、団体の責任の元に処理すること。

(2) 大会参加手続に関する提出書類

「音楽著作権使用許諾確認書」の提出

① 使用許諾の状況により、下記の添付書類の提出が必要となる。

① 条件なしで許諾された

○版元より出される確認書の写しまたは各団体で作成した確認書を添

② 条件ありで許諾された（無料）

○版元より出される許諾を証明する書類の写しを添付

③ 条件ありで許諾された（有料）

○版元より出される許諾を証明する書類の写し及び領収書・振込控等（コピー可）を添付すること

④ 許諾の必要がない（自作曲等）

○書類添付の必要なし

尚、「各団体で作成した確認書」又は「版權を所有している団体で公式の許諾用書式がない場合」には以下を明記の上作成し提出すること

- 版權所有の正式団体名
- 住所
- 電話番号／メールアドレス
- 担当者名
- 許諾に関する対応をされた期日

※著作権に関する書類（添付書類を含む）の提出は事前郵送。（PDFでメール可）

録音利用明細書・演奏利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書を記入すること。

尚、著作権に関する書類、使用曲音源のCD-Rは、2023年1月10日（火）までに大会事務局まで郵送すること。

競 技 規 定

【ソロ】

1. 演技に関する規定
 - ① 人数 ……1名
 - ② 使用するバトン ……レギュラーバトン1本
 - ③ 競技フロア ……縦6m×横12mの広さを目安とする
 - ④ 演技曲（時間） ……課題曲（約2分00秒）
 - ⑤ コスチューム ……スポーツであることを前提に、安全性が確保されていること

【トゥーバトン】

1. 演技に関する規定
 - ① 人数 ……1名
 - ② 使用するバトン ……レギュラーバトン1本
 - ③ 競技フロア ……縦6m×横12mの広さを目安とする
 - ④ 演技曲（時間） ……課題曲（約1分30秒）
 - ⑤ コスチューム ……スポーツであることを前提に、安全性が確保されていること

【スリーバトン】

1. 演技に関する規定
 - ① 人数 ……1名
 - ② 使用するバトン ……レギュラーバトン1本
 - ③ 競技フロア ……縦6m×横12mの広さを目安とする
 - ④ 演技曲（時間） ……課題曲（約1分30秒）
 - ⑤ コスチューム ……スポーツであることを前提に、安全性が確保されていること

<ソロ/トゥーバトン/スリーバトンの技術内容の制約事項>

- ・ソロではトスの有無に関わらず、アクロバット動作は最大2つまで許可される
動作は組み合わせても良いし、2つの動作を別々に行っても良い
- ・トゥーバトン、スリーバトンでは、アクロバット動作は禁止
- ・イリュージョンは全種目において許可される

アクロバット動作の定義

バトントワーリングのプログラムにおいて、両足が床から離れ、頭の上を通過し反対側の床に着地するような動きをアクロバット動作とみなす。両足は同時に又は時間差で床から離れることができ、同時に又は時間差で着地することができる。

- ・手による支持（例：手を使って行う側転）
- ・腕による支持（例：前腕を使って行う側転）
- ・頭による支持（例：ヘッドスタンド）
- ・空中で他人の体による支持（例：他人の脚で体を支えてもらった側転）

代表的な例：前方又は後方へのウォークオーバー、側転など

空中アクロバット動作の定義

床に手をついたり支えたりすることなく、空中で完全に回転する身体動作のことを言う。

- ・体の支えなしに空中で行う動き（例：側宙、後方宙返り、前宙）

注意：水平バタフライ（脚が頭の上を通過しない）は空中アクロバットではなく、メジャーボディムーブとみなされる。

【アーティスティックトワール】

1. 演技に関する規定
 - ① 人数 ……1名
 - ② 使用するバトン ……レギュラーバトン1本
 - ③ 競技フロア ……縦6m×横12mの広さを目安とする
 - ④ 演技曲（時間） ……Artistic Twirl & Artistic Pair（約1分45秒）
 - ⑤ コスチューム ……スポーツであることを前提に、安全性が確保されていること

【アーティスティックペア】

1. 演技に関する規定
 - ① 人数 ……2名
 - ② 使用するバトン ……レギュラーバトン2本（各自1本）
 - ③ 競技フロア ……縦6m×横12mの広さを目安とする
 - ④ 演技曲（時間） ……Artistic Twirl & Artistic Pair（約1分45秒）
 - ⑤ コスチューム ……スポーツであることを前提に、安全性が確保されていること

【デュエット】

1. 演技に関する規定
 - ① 人数 ……2名
 - ② 使用するバトン ……レギュラーバトン2本（各自1本）
 - ③ 競技フロア ……縦6m×横12mの広さを目安とする
 - ④ 演技曲（時間） ……課題曲（約1分45秒）
 - ⑤ コスチューム ……スポーツであることを前提に、安全性が確保されていること

《デュエットの技術内容の制約事項》

- ・アクロバット動作は禁止。

【トワールチーム】

1. 演技に関する規定
 - ① 人数 ……6名以上8名以内
 - ② 使用するバトン ……レギュラーバトン（各自1本）
 - ③ 競技フロア ……縦15m×横25mの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り口の各ライン中央に印を付ける
 - ④ 演技曲（時間） ……課題曲（約3分00秒）
※演技の最初と最後にサリュートを実施すること
 - ⑤ コスチューム ……スポーツであることを前提に、安全性が確保されていること
手のひらと顔を覆うようなものは不可
尚、演技中に衣装が顔を覆うような振付も不可

《トワールチームの技術内容の制約事項》

- ・アクロバット動作は禁止
- ・小道具の使用は不可

【アーティスティックチーム】

1. 演技に関する規定
 - ① 人数 ……6名以上8名以内
 - ② 使用するバトン ……レギュラーバトン（各自1本）
 - ③ 競技フロア ……縦15m×横25mの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り口の各ライン中央に印を付ける
演技途中、境界線を越してしまった場合は、審査内容の「空間の利用・ステージング」で判断する
 - ④ 演技曲（時間） ……3分～3分30秒（過分なし）の自由曲を使用

フリースタイルの音楽は各参加者が選択しCD-Rに録音し事前に送付すること。CD-Rには種目・部門・曲の長さ（計時）・団体名・選手名を記入しておくこと

演技席で行うこと。曲のスタートとストップの合図は演技者が演技スペースで行うか、付添者が音響席にて行うこと。

曲の長さは、音楽の第一音より最終音までとする。音楽の第一音以前に合図音を使用しても良いが計時には認めない

⑤ コスチューム

…スポーツであることを前提に、安全性が確保されていること
手のひらと顔を覆うようなものは不可
尚、演技中に衣装が顔を覆うような振付も不可

【アーティスティックグループ】

1. 演技に関する規定

- ① 人数 ……10名以上 30名以内
- ② 使用するバトン ……レギュラーバトン（各自1本）
- ③ 競技フロア ……縦 15m×横 25mの広さを目安とし、競技フロアは枠を取り、口の各ライン中央に印を付ける
演技途中、境界線を越えてしまった場合には、審査内容の「フロアの利用」で判断する
- ④ 演技曲（時間） ……3分～3分30秒（過分なし）の自由曲を使用
グループの音楽は各参加者が選択し、CD-Rに録音し、事前に送付すること。CD-Rには、種目・部門・曲の長さ（計時）・団体名・選手名を記入しておくこと
演技曲のスタート（演技開始）とストップ（演技終了）の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。曲の長さ（計時）は、音楽の第一音より最終音までとする。音楽の第一音以前に演技開始のための合図音（1秒以内）を入れても良いが、計時には含めない
3分以上 3分30秒以内とする
- ⑤ コスチューム ……スポーツであることを前提に、安全性が確保されていること
手のひらと顔を覆うようなものは不可
尚、演技中に衣装が顔を覆うような振付も不可

《アーティスティックグループの技術内容の制約事項》

スピン	・1-2スピン…リリースの制限なし レセプションの制限なし
空中アクロバット動作	・トスの有無に関わらず禁止。
ステーションナリー コンプレックス & トラベリング コンプレックス	・トスの下で、メジャーボディムーブ（※）は1回。 その際、リリースの制限なし レセプションの制限なし
ダブルエレメント トリック	・トスを伴うダブル以上は禁止。
ロール	・コンティニューアスフロントネックロール （手の有無に関係なく）禁止。 ・フロントネックフィギュアエイト禁止。 ・モンスターロール（パーシャルもフルも）禁止。

詳細：(※) メジャーボディムーブが1つ許されています。

トス後やキャッチ前にマイナーな体の動きを追加することはできません。

メジャーボディムーブとはイリュージョン・ウォークオーバー（前/後）・リープやジャンプ・ソッテ・アラベスク・アチチュード・グランバットマン・ソデバスク・トワジュテ・カプリオーレで、約3拍又はそれ以上の拍数のもの。

マイナーボディムーブとは、ホップ・スキップ・シャッセ・ピケ・ステップステップ・クッペ・ソッテなど予備動作やフォローのために使われるもので約2拍のもの。

その他の競技規定

1. 全種目共通

- (1) ボールとティップは新しいものを使用することが望ましい。
- (2) バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- (3) バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。但しグリップテープはシャフトの長さの二分の一までとし、センターから同等に巻くこと。両端側 1/4 は覆われてはならない。
- (4) グリップテープは隙間なく巻いても、ストライプ状でも渦巻状でも良い。
- (5) テープやテープの類似品以外の付属品等を使用することはできない。
(視覚的補助及びハンドリング補助のためは可)
- (6) デュエット・アーティスティックペア・トワールチーム・アーティスティックチーム、アーティスティックグループは、グリップテープの色や巻き方を同一にすること。
- (7) 競技フロアヘタオル・パウダーなどバトン以外を持ち込んではいけない。
- (8) 怪我のための包帯等は可。
- (9) 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。

3. その他

- (2) 大会の主旨及び実施要項・競技規定・審査規定に反する行為を行った場合、警告または次回大会出場停止とする。
- (2) 競技規定・審査規定の主旨を変更することなく、実行委員会において加除訂正を行うことができる。

◎競技規定・審査規定の詳細は、日本バトン協会ホームページにて確認すること。

◇審査基準

	A+・A・A-	B+・B・B-	C+・C・C-
バトンテクニック 正しい操法 一定なリズム 正確なパターン なめらかなトワール	操作を理解し 正確に実施している	操作は理解している が 実施は不安定である	操作の理解が未熟で 実施は不正確である
ボディテクニック 正しい姿勢 意識あるフリーハンド 正しいフットワーク 正しいボディワーク	動作を理解し 正確に実施している	動作は理解している が 実施は不安定である	動作の理解が未熟で 実施は不正確である
パフォーマンス 自信ある演技 楽しい表情の演技 身だしなみ	自信ある演技	自信のある演技に 持続性がない	自信のある演技に 欠ける
総合評価	金	銀	銅

◇評価基準

金賞 … バトンテクニックがAで、他の2項目にCがない場合
銅賞 … バトンテクニックがBで、他の2項目がCの場合 バトンテクニックがCの場合
銀賞 … 上記以外

各種申込について

1. 参加申込

- (1) 参加の希望がある団体は下記のアドレスにメールにて参加申込書のフォーマットを請求すること。
ただし、参加申込フォーマットは2024年10月下旬からの配信とする。
必須事項を入力し2024年11月15日（金）14:00までに大会アドレスまでデータにて提出すること。
Eメールアドレス kanto50@tbz.t-com.ne.jp
- (2) パスポートサイズ証明写真（縦45mm×横35mm）データを2025年1月10日（金）までにメールで送ること。その場合、①構成員番号（半角）と②選手一人ずつの氏名をデータのファイル名とすること。

大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用するものではない。

2. 参加費

- (1) 参加費は郵便局備付けの払込取扱票にて2024年11月15日（金）迄に振込むこと。
- (2) 一度納入された参加費は原則として払い戻しはしない。
 - ① 団体参加費 1,500円
 - ② 全日本バトントワーリング選手権大会 予選の部

ソロトワール	6,500円
トゥーバトン	6,500円
スリーバトン	6,500円
ダンストワール	6,500円
ソロストラット	6,500円
ペア	11,000円
 - ③ 世界バトントワーリング選手権大会予選 関東支部選考の部

ソロ	6,500円
トゥーバトン	6,500円
スリーバトン	6,500円
アーティスティックトワール	7,000円
アーティスティックペア	12,000円
デュエット	12,000円
トワールチーム	18,000円
アーティスティックチーム	20,000円
アーティスティックグループ	30,000円
 - ④ 全国共通規定演技 3,000円

3. 入場券 前売り 2025年2月1日（土）2,000円、2月2日（日）2,000円

当日 各日 2,500円

（当日券は状況により販売できないこともある）

- ※ 参加者及び引率者以外は全員入場券を必要とする。（幼児は座席を確保しなければ不要）
- ※ 参加者は両日入場券不要
- ※ 一度購入した入場券の払い戻しは不可

4. プログラム引換券 500円

※3、4に関しては郵便局備付けの払込取扱票にて2024年11月18日（月）～2025年1月14日（火）迄に申し込むこと。

5. 引率者（参加申込後、引率者用リボンを送付）

- ・参加者10人まで 団体引率責任者1名+引率者1名
 - ・参加者11～20人まで 団体引率責任者1名+引率者2名
 - ・参加者21～30人まで 団体引率責任者1名+引率者3名
- ※引率者はすべて入場券を不要とし、10人増えるごと引率者が1名増える

※団体引率者には、プログラム1部進呈

＜大会事務局＞ ※上記1～4申込先
〒124-0024

東京都葛飾区新小岩 1-42-11 中屋ビル 304号室
日本バトン協会関東支部

※質問・問い合わせはEメールにてお願い致します。

Eメールアドレス kanto50@tbz.t-com.ne.jp

1. 課題曲CD

2021年度改訂6種目課題曲 CD2,200円(税込)(送料別)

[ソロトワール/トウバトン/スリーバトン/ペア/ソロストラット/ダンストワール]

◆上記申込先 <一般社団法人日本バトン協会> HP、会員専用ページ内の『資料購入』より申込ができません。会員専用ページへはこちら⇒[会員専用ページ](#)

なお、上記課題曲について、一般社団法人日本バトン協会HP、会員専用ページ内の『課題曲ダウンロード』よりダウンロードができます。

4. 写真撮影・ビデオ撮影について

(1) 会場内での写真撮影・ビデオ撮影は禁止とする。

(2) 業者による記念写真・演技ビデオは個人の申し込み制とする。

※VTR撮影券の販売は不特定多数の撮影により、二次的被害を防ぐため協会として禁止されました。

今大会ではVTR撮影券の販売は致しません。